

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0 コード生成 ご使用上のお願い

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 (CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K)

の注意事項

- RL78/G12グループ用コード生成を使用する場合の注意

1. 該当製品

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V1.00.04 および V1.00.05

以下の手順でバージョンを確認できます。

- (1) Windowsの"プログラムの追加と削除"を開く。
- (2) リストにあるCubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K のアイコンをクリックする。
- (3) "サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。" をクリックするとバージョンが表示されます。

2. 内容

該当製品に含まれるRL78/G12グループ用コード生成に以下の問題があります。
キー割り込みフラグおよび検出エッジの設定が正しくレジスタへ反映されません。

発生例 :

キー割り込みフラグのリストから「使用する」を選択、検出エッジのリストから「立ち下がりエッジ」を選択すると、誤って以下のように出力します。

```
誤: KRCTL |= _00_KR_FLAG_UNUSED;  
KRCTL |= _01_KR_EDGE_RISING;
```

正しくは、以下のとおりです。

```
正: KRCTL |= _01_KR_FLAG_USED;  
KRCTL |= _00_KR_EDGE_FALLING;
```

3. 回避策

最新のRL78/G12グループMCUのハードウェアマニュアルを参照し、出力されたソースコードを編集して修正してください。

4. 恒久対策

CubeSuite+ の次期バージョン (2012年 年末リリース予定) で改修する予定です。リリースまでに対策が必要な場合は、以下のWebページからご相談ください。

技術問合せ : <https://www.renesas.com/support/contact.html>

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。